

自然科学研究科 学位論文の審査基準 博士前期課程

専攻	学位論文の審査基準
数物科学専攻	<p>修士論文の審査においては、修士論文が数物科学専攻の定める学位授与方針を満たすものとして書かれていることを前提とし、以下の条件を満たしていることを審査基準として判定を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 修士論文は、博士前期課程において自ら行った研究を主たる内容として、著者自身によって書かれていること。</li> <li>2. 修士論文は、著者の研究分野における新たな研究成果を含んでいるか、あるいは、修学の成果を示す適切な総合報告を含んでいること。</li> <li>3. 先行研究論文の結果や文章、関連論文は公正に引用されていること。</li> </ol>
物質化学専攻	<p>課題研究の成績評価に関しては、以下の各項目について審査し、その結果を基に総合的に判断し、可否を決定することとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 課題研究の遂行に必要な国内外の文献を調査し、理解できること。</li> <li>2. 当該研究領域における様々な理論、実験技術を修得すること。</li> <li>3. オープンエンドな問題に対して自主的に取り組む中で、研究目的や位置づけを理解し、課題を解決できること。</li> <li>4. 他の研究者との対話や連携を通して、研究に取り組めること。</li> <li>5. 研究成果を論文として取りまとめるとともに、発表・討論できること。</li> </ol> <p>また、学位論文の成績評価に関しては、以下の各項目を審査する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 当該研究領域における修士としての十分な知識を修得し、問題を的確に把握し、解明する能力を身につけること。</li> <li>2. 研究テーマの設定が申請された学位に対して妥当なものであり、論文作成にあたっての問題意識が明確であること。</li> <li>3. 論文の記述（本文、図、表、引用文献等）が十分かつ適切であり、結論に至るまで首尾一貫した論理構成になっていること。</li> <li>4. 設定したテーマの研究に際して、適切な研究方法、実験方法、論証方法を採用し、それに則って具体的な考察が為されていること。</li> <li>5. 当該研究領域の理論的見地または実証的見地から、独自の価値を有するものとなっていること。</li> <li>6. 外国語能力が研究の遂行に必要とされる十分なレベルに達していること。</li> </ol>
機械科学専攻	<p>修士論文の成績評価(可否の決定)は、以下の各項目に関する審査と、その結果に基づいた総合的判断により行われる。</p>

	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 当該研究領域における修士としての十分な知識を修得し、問題を的確に把握し、解明する能力を身につけているか。</li> <li>2. 研究テーマの設定が申請された学位に対して妥当なものであり、論文作成にあたっての問題意識が明確であるか。</li> <li>3. 論文の記述（本文，図，表，引用，文献表など）が十分かつ適切であり，結論に至るまで首尾一貫した論理構成になっているか。</li> <li>4. 設定したテーマの研究に際して，適切な研究方法，調査・実験方法，あるいは論証方法を採用し，それに則って具体的な分析・考察が為されているか。</li> <li>5. 外国語文献読解や外国における調査が必要とされるテーマについては，その文献読解や調査研究に必要な外国語能力が，十分なレベルに達しているか。</li> </ol>
<p style="text-align: center;">フロンティア 工学専攻</p>	<p>修士論文の成績評価(合否の決定)は，以下の各項目に関する審査と，その結果に基づいた総合的判断により行われる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 修士論文は，博士前期課程において自ら行った研究を主たる内容として，著者自身によって書かれていること。</li> <li>2. 修士論文は，著者の研究分野における新たな研究成果を含んでいるか，あるいは，修学の成果を示す適切な総合報告を含んでいること。</li> <li>3. 先行研究論文の結果や文章，関連論文は公正に引用されていること。</li> </ol>
<p style="text-align: center;">電子情報通信学 専攻</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 当該研究領域における修士としての十分な知識を修得しているか。</li> <li>2. 研究の背景，目的や必要性を的確に把握しているか。</li> <li>3. 的確な研究方法や研究計画を立て，遂行・分析・考察しているか。</li> <li>4. 既習の知識や理論を用いて，結果を定性的・定量的に説明しているか。</li> <li>5. 論文は，背景と目的，研究方法，結果と考察，結論，参考文献などが，適切な図表も利用して順序立てて記述できているか。</li> <li>6. 科学技術文書として客観的かつ専門的に，曖昧さが無い文書表現であるか。</li> </ol>

<p>地球社会基盤学 専攻</p>	<p>学位（修士）論文の審査は、地球社会基盤学専攻の学位授与方針（D P）に従い以下の項目について、主査及び副査1名以上の審査員により審査し、その結果を総合的に判断して可否を決定する。</p> <p>論文審査項目</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 当該研究領域における修士としての十分な専門知識と実践的スキルを身につけているか。また、問題を的確に把握、解明・解決する能力を身につけているか。</li> <li>2. 研究テーマの設定が申請された学位に対して妥当であるか。</li> <li>3. 修士論文研究に際して、適切な研究（調査・実験・解析）方法を採用し、それによって得られた結果に基づいて具体的な分析・考察が為されているか。</li> <li>4. 当該研究領域において、独自の価値を有するものとなっているか。</li> <li>5. 論文の構成・記述が、十分かつ適切であり、結論に至るまで一貫した議論がなされているか。</li> </ol>
<p>生命理工学専攻</p>	<p>学位（修士）論文の審査は、生命理工学専攻の学位授与方針（D P）に従い以下の項目について、主査と1名以上の副査による審査及び最終試験を実施し、合格すること。</p> <p>論文審査項目</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 当該研究領域における修士としての十分な専門知識と実践的能力を身につけているか。また、問題を的確に把握、解明・解決する能力を身につけているか。</li> <li>2. 研究テーマの設定が申請された学位に対して妥当であるか。</li> <li>3. 研究に際して、適切な研究（調査・実験・解析）方法を採用し、それによって得られた結果に基づいて具体的な分析・考察がなされているか。</li> <li>4. 修士論文が当該研究領域において、独自の価値を有するものとなっているか。</li> <li>5. 修士論文の構成・記述が、十分かつ適切であり、結論に至るまで一貫した議論がなされているか。</li> <li>6. 修士論文の内容について、本課程在学中に申請者が公開の発表会で発表しているか。</li> </ol>